

【本件リリース先】

文部科学記者会、広島大学関係報道機関



広島大学

NEWS RELEASE

広島大学広報グループ  
〒739-8511 東広島市鏡山 1-3-2  
TEL : 082-424-3749 FAX : 082-424-6040  
E-mail: koho@office.hiroshima-u.ac.jp

令和3年3月2日

東広島市 Autono-MaaS 推進コンソーシアムシンポジウムを開催します  
「Smart Campus Initiatives in Hiroshima」

広島大学が加盟する、東広島市 Autono-MaaS 推進コンソーシアムが、オンラインシンポジウム「Smart Campus Initiatives in Hiroshima」を開催します。本シンポジウムは、2021年3月より開始される「Autono-MaaS（オートノマース）」※実証実験の実施にあたり、自動運転やスマートエネルギーなどの先端技術が、学びや暮らしに与える影響について、広く参加者の皆様と共有する機会を設けることを目的としています。

シンポジウム参加は無料で、事前参加登録が必要です。情報通信技術や AI を活用した住みやすいまちづくり、環境に優しいまちづくりに興味を持つ皆様のご参加をお待ちしています。

※Autonomous Vehicle（自動運転車）と MaaS（Mobility as a Service）を融合させた、自動運転車を利用したモビリティサービスを示すトヨタ自動車株式会社による造語

記

【日時】2021年3月10日（水）13:00-16:50

【方法】Zoomによるオンライン配信

【言語】日本語・英語（同時通訳あり）

【対象】企業・学術機関のご担当者、ご関心のある一般の方々

【参加費】無料

【申込方法】下記シンポジウムウェブページより参加登録してください。

（日本語）<https://cutt.ly/1lw2zKG> （英語）<https://cutt.ly/Flw2Gfw>

【内容】

13:00 ～ 開会挨拶 越智 光夫（広島大学長）

来賓挨拶 高垣 廣徳（東広島市長）

趣旨説明 藤原 章正（広島大学副学長（学術院担当））

13:25 ～ 基調講演

「Multi-Policy Decision Making (MPDM) を用いた自動運転」

Edwin Olson（May Mobility 社・CEO／ミシガン大学・教授）

14:15 ～ 講演

「MONET が考える自動運転社会」

柴尾 嘉秀（MONET Technologies 株式会社・代表取締役副社長 兼 COO）

「羽田イノベーションシティでのスマートシティの取り組みとこれからの展望」

加藤 篤史（鹿島建設・開発事業本部 事業部長）

「カーボンニュートラル×スマートキャンパス 5.0 宣言とは」

高瀬 正道（住友商事・ゼロエミッション事業部エネルギーサービスチーム長）

「次世代賀茂学園都市構想に向けて」

金子 慎治（広島大学副学長（グローバル化推進担当））

16:50 ～ 閉会挨拶 楯 真一（広島大学理事・副学長（学術・社会連携担当））

【お問い合わせ先】

広島大学たおやかプログラム事務室

TEL : 082-424-6152 FAX : 082-424-6954

e-mail : taoyaka-program@office.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数 : A4版 3枚 (本票含む)



MONET

た  
お  
や  
か  
TAOYAKA

東広島市 Autono-MaaS 推進コンソーシアムシンポジウム

# Smart Campus Initiatives in Hiroshima



日 時

2021 年

3/10 (水)

13:00 ~ 16:50

開催形式

Zoom による  
オンラインライブ配信

言 語

日英 (同時通訳あり)

持続可能な地域の創生に向けて、交通やエネルギー問題の解決は重要な課題であり、学術的にも様々なアプローチから調査研究や実証実験が各地で行われています。

広島大学でも 2021 年 3 月より、東広島市、イズミ、モネ・テクノロジーズと共同し、情報通信技術や AI を活用した効率的で便利な交通システム「MaaS (Mobility as a Service)」の普及へ向け、実証実験を開始します。

本シンポジウムでは、国内外から専門家の方をお招きし、自動運転やスマートエネルギーなどの先端技術が学びや生活に与える影響について、参加者の皆様と共有し、私たちの未来を考えます。

## 基調講演



エドウィン・オルソン

Dr. Edwin Olson

CEO, May Mobility, Inc.  
ミシガン大学・教授  
(電気工学/コンピュータサイエンス)

オルソン氏は、フォードやトヨタの研究所において、10 年以上にわたって自動運転車両の開発のプロジェクトに携わってきた。自動運転技術に関する各種のコンペで優勝し、2012 年にはポピュラーサイエンス誌の「10 名の秀才 (Brilliant 10)」に選ばれた。2019 年には、アーンスト・アンド・ヤング社のアントレプレナー・オブ・ザ・イヤーに選出され、2017 年には、共同出資者として May Mobility 社を創設、2019 年には、ファースト・カンパニー誌の最もイノベティブな企業に選ばれた。

マサチューセッツ工科大学にて博士号取得  
(コンピュータサイエンス/電気工学)

## プログラム

- 開会挨拶 越智 光夫 (広島大学長)
- 来賓挨拶 高垣 廣徳 (東広島市長)
- 趣旨説明 藤原 章正 (広島大学副学長 (学術院担当))
- 基調講演 「Multi-Policy Decision Making (MPDM) を用いた自動運転」  
Edwin Olson (May Mobility, Inc. CEO/ ミシガン大学・教授)
- 講 演 「MONET が考える自動運転社会」  
柴尾 嘉秀 (MONET Technologies・代表取締役副社長 兼 COO)
- 「羽田イノベーションシティでのスマートシティの取り組みとこれからの展望」  
加藤 篤史 (鹿島建設・開発事業本部 事業部長)
- 「カーボンニュートラル×スマートキャンパス 5.0 宣言とは」  
高瀬 正道 (住友商事・ゼロエミッション事業部エネルギーサービスチーム長)
- 「次世代賀茂学園都市構想に向けて」  
金子 慎治 (広島大学副学長 (グローバル化推進担当))
- 閉会挨拶 楯 真一 (広島大学理事・副学長 (学術・社会連携担当))



参加登録

<https://cutt.ly/1lw2zKG>

お問い合わせ先： 広島大学たおやかプログラム事務局  
E-mail : taoyaka-program@office.hiroshima-u.ac.jp

主 催 : 東広島市 Autono-MaaS 推進コンソーシアム

共 催 : 広島大学

東広島市

東広島 - 広島大学 Town & Gown Office

広島大学大学院リーディングプログラム

「たおやかで平和な共生社会創生プログラム」